

平成27年度 第1回千葉市こども未来局指定管理者選定評価委員会 議事録

1 日時 : 平成27年7月14日(火) 10時00分～

2 場所 : 千葉市議会(千葉市役所議会棟) 第4委員会室

3 出席者 :

(1) 委員

岩切 裕委員(会長)、鶴見 泰委員(副会長)、小栗一徳委員、田原洋子委員、
松寄洋子委員

(2) 事務局

【こども未来局】 松浦こども未来部長

【こども未来部こども企画課】 始関課長

【こども未来部保育支援課】 佐々木課長

4 議題 :

- (1) 会長・副会長の選任について
- (2) 「千葉市子ども交流館」の年度評価について
- (3) 「千葉市子育て支援館」の年度評価について
- (4) その他

5 議事の概要 :

- (1) 会長・副会長の選任を行った。
- (2) 「千葉市子ども交流館」の年度評価について、評価シートをもとに事務局から説明を行い、審議を行った後、評価に関して委員会としての意見を取りまとめた。
- (3) 「千葉市子育て支援館」の年度評価について、評価シートをもとに事務局から説明を行い、審議を行った後、評価に関して委員会としての意見を取りまとめた。
- (4) 事務局より、今年度及び来年度の会議の開催、また議事録と評価シートの公表について説明を行った。

6 会議の経過 :

○事務局 これより平成27年度第1回こども未来局指定管理者選定評価委員会を開会させていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、こども企画課の田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、委員の皆様全員にご出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

また、当会議は公開となりますので、重ねてご報告いたします。

本日は、お手元に、議事次第、席次表、指定管理者評価シートをお配りしております。

なお、事前に青いファイルの配付資料と黄色いファイルの参考資料をお送りさせていただいております。資料につきまして不足などがございましたら、事務局までお申し付けください。

それでは、開会に当たりまして、こども未来局こども未来部長の松浦よりご挨拶申し上げます。

○松浦こども未来部長 皆様、おはようございます。千葉県こども未来部の松浦でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日は大変お忙しい中、また猛暑の中、この会議にご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。日頃から、委員の皆様におかれましては、千葉市政各般にわたりまして、多大なるご協力、ご支援を賜っておりますこと、重ねてお礼を申し上げます。

さて、この会議ですけれども、年度評価の年は年1回の会議でございます。委員の皆様がこうしてお顔を合わせることも年一度の機会ですので、こども未来局を取り巻く昨今の状況について、簡単にご説明させていただきましてからご審議に入っていただきたいと思っております。

この4月から、子ども・子育て支援新制度が全国一斉にスタートいたしまして、本市におきましても、順調にスタートしたところでございます。

この子ども・子育て支援新制度、市民の方からわかりにくいという声も頂戴しているのですが、ポイントは3点あります。まず1点目が、幼稚園と保育所の良いところを一つにした認定こども園をこれから普及させていこうということ。2点目といたしまして、昨今、待機児童問題が大変大きい問題になっておりますので、保育の受け皿を拡充していこうということ。そして、3点目が、共働き家庭だけではなくて、地域の子育てをする方々、専業主婦家庭も含めて、全ての地域の方々の子育てを応援していこうということ。そして、量を拡充するだけではなくて、保育環境の質も高めていこうということがこの新制度の目的となっております。

本市におきましても、公立の保育所は全部で59カ所ありますけれども、そのうちの2カ所を保育所型の認定こども園として、この4月に設置したところでございます。この4月には、昨年度に引き続き、本市では待機児童2年連続ゼロを達成いたしましたけれども、少子化といえども、潜在的な保育需要が大変多く、当面の間は、保育の受け皿の拡充に力を入れていかなければならないと思っております。

本年3月に「千葉県こどもプラン」を策定いたしまして、プランの基本理念に「こどもを産み育てたい、こどもがここで育ちたいと思うまち『ちば』の実現」を掲げており、全ての子育て世帯の支援と充実、全ての子ども・若者が健やかに成長できる環境の整備に尽力していきたいと思っておりますので、委員の皆様にもぜひご協力、ご支援を賜りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

さて、本日の会議でございますけれども、千葉県子ども交流館と千葉県子育て支援館、この2つの施設につきまして、指定管理者の年度評価を行っていただくことになってお

ります。平成 26 年度におきます施設の運営、管理、財務状況などにつきまして、ご意見やご提言をいただくこととなってございます。この 2 つの施設、子どもの居場所として、また地域の子育て支援の拠点として、大変重要な役割を担っている施設でございます。委員の皆様におかれましては、専門的なお立場から忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。本日はご審議、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 続きまして、本日は改選後初めての委員会開催でございます。新たにご就任いただきました委員の方もおりますので、皆様のご紹介をさせていただきたいと思っております。

(委員紹介)

事務局職員の紹介は、お手元の席次表の配付によりかえさせていただきます。

それでは、議事に入らせていただきますが、会長選出までの間は仮議長をこども未来部長が務めたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○こども未来部長 それでは、会長が選出前でございますので、その間、仮議長を務めさせていただきます。

まず、議題(1)「会長・副会長の選任」についてでございます。会長及び副会長の選出は、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第 9 条第 2 項の規定により、委員の皆様方の互選により定めることとなっておりますが、皆様、いかがでございましょうか。

○田原委員 私から推薦させていただいてよろしいですか。

会長には、引き続き、経験が豊かで幅広い知識をお持ちの岩切委員さんをお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。それと、鶴見委員さんには引き続き副会長としてサポートしていただけたらと思っております。皆様、いかがでしょうか。

○こども未来部長 ありがとうございます。ただいま、田原委員より、会長には岩切委員を、副会長には鶴見委員をというご発言がございましたが、皆様、いかがでございましょうか。

(「異議なし」の声あり)

○こども未来部長 ありがとうございます。

では、ご異議がないようでございますので、岩切委員に会長を、鶴見委員に副会長をお願いしたいと存じます。

会長と副会長の任期ですが、特に規定はございませんが、委員の任期と同様ということで、同じ期間とさせていただきたいと存じます。

それでは、ここからは岩切会長に議事進行をお願いしたいと存じます。ご協力ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しします。

○事務局 それでは、岩切委員には会長席に、鶴見委員には副会長席に移動をお願いします。

(岩切委員、鶴見委員、会長席・副会長席に移動)

○事務局 ご準備ができましたら、岩切会長、鶴見副会長より、就任のご挨拶をお願いし

たいと思います。よろしくお願いいたします。

○**岩切会長** 皆さん、おはようございます。新しい委員の方もいらっしゃいますので、そろそろ新しい方に会長を、と思ったのですが、ご指名でございますので、会長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、平成 26 年度の管理実績の評価について審議することになります。指定期間も後半に入っておりますので、委員の皆さんから忌憚のない意見を出していただきまして、最終的に内容を伴った実績ができますようにお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○**鶴見副会長** 副会長に推薦されました鶴見でございます。精いっぱい会長をサポートして議事運営に努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○**事務局** ありがとうございます。

以降の議事進行につきましては、岩切会長にお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

○**岩切会長** 改めまして、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議題について、事務局よりご説明をお願いします。

○**始関こども企画課長** 本日の議題についてご説明申し上げます。

今回は、子ども交流館及び子育て支援館の評価を各所管から指定管理者評価シートに従いまして順にご説明した後、評価シートの委員会意見欄に記入いたします委員会としてのご意見を伺いたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○**岩切会長** それでは、議題（２）の『『千葉県子ども交流館』の年度評価について』に移りたいと思います。事務局よりご説明をお願いいたします。

○**始関こども企画課長** こども企画課、始関でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、子ども交流館の平成 26 年度の指定管理者評価シートにつきまして、ご説明させていただきます。

資料 2-2 「指定管理者評価シート」をご覧ください。項目がたくさんございますので、重要なもの、また、特に説明が必要な項目を中心にご説明させていただきます。

初めに、「1 基本情報」でございますが、施設名は千葉県子ども交流館、指定管理者は平成 24 年度から引き続きアクティオ株式会社でございます。この指定管理者は、現在、全国の自治体で数多くの指定管理業務を行っている事業者でございます。この子ども交流館は、子どもの健全な遊びと居場所の提供を主な目的とした大型の児童館の機能を持つ施設でございます。

次に、「2 管理運営の実績」でございます。「(1) 主な実施事業」でございますが、①の「指定管理事業」として、施設の管理運営業務のほか、調理室や工房などを活用した各種講座・教室等の開催や時期に合わせたイベントなどを実施しております。また、②の指定管理者が自主的に行う「自主事業」として、受託事業以外の講座・教室等の開催や音楽スタジオを用いたミュージックレッスン等を開催しております。

次に、「(2) 利用状況」の欄をご覧ください。「利用者数」は 13 万 7,552 人で、前年

度と比較して7,700人ほど増加しており、過去最高の利用者数となっております。その下の「登録者数」でございますが、新規利用登録者数は前年度と比べ380人ほど減少しております。明確な理由はわかりませんが、一つに、本市の18歳以下の人口がここ数年続けて平均900人ほど減少しております。また、子ども交流館は高校生までを対象としており、18歳に到達した年度末で登録を削除している一方、新規登録者の確保は開館以来、積極的に行ってきたところで、ある程度広がってきたため、新規登録者の確保が難しくなってきたものと考えておりますが、今後も新たな利用者の獲得を促進し、広くサービス提供していく必要があると考えております。

次に、「(3) 収支状況」をご覧ください。①の「収入実績」のうち自主事業では、ドラマレッスンやジャズダンス（キッズクラス）で計画を上回る利用者があり、決算額は対計画比106.6%となっております。その他は、受託事業で実施しましたクッキング講座などの実費相当分の参加費等でございます。計画比108.7%となっており、全体としては計画比100.1%でございます。

次に、②の「支出実績」のうち、まず人件費でございますが、決算額は計画比104.3%となっております。これは、職員が事務に追われる状況となっているため、子どもたちの対応を充実するよう、事務を行う非常勤職員を1名増員させたことによる人件費の増加でございます。

③の「収支実績」は、全体として247万2,000円のマイナスとなっております。

次に、「(4) 指定管理者が行った処分の件数」についてですが、施設の使用許可を1,131件実施しております。内訳は、音楽スタジオの利用申請が全体の8割を占めており、そのほかは、多目的室、アリーナと続いております。

「(5) 市への不服申し立て」についての実績はございません。

次のページをご覧ください。

次に、「(6) 情報公開の状況」については、文書開示申出が1件ございました。事案の概要は、平成23年9月の指定管理者公募時の事業提案書類についてでございます。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてです。まず、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」でございますが、①の「アンケート調査の実施内容」でございますように、平成26年度におきましては、通年実施の利用者アンケート、特定の開催のイベントの際の特別アンケート、その他、定期アンケートの3つを実施し、450件の回答を得ております。

②の「調査の結果」でございますが、各施設の利用に関する質問、要望等が大半でございます。また、「楽しかった」「また来年もやってほしい」といったおおむね好意的な評価を多数いただいております。また、ほかの利用者のマナーに関する意見も頂いております。

③の「アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」について幾つかご紹介させていただきます。学習室の利用者より「照明を明るくしてほしい」とのご意見をいただいております。対応といたしましては、基本的な設定としていることをご理解いただくとともに、申し出があった場合に、ダウンライトを点灯することといたしまし

た。このほか、各施設の利用者マナーが悪いとのご意見を多くいただいております。これに対しましては、職員による巡回指導やポスター掲示による注意喚起など、指導の強化を実施いたしました。

「(2) 市に寄せられた意見、苦情」については実績がございません。

次に、一番下段の「4 指定管理者による自己評価」でございます。来館者数は対前年比 105.9%と増加しており、子ども交流館が子どもたちにとって居心地のよい居場所として定着してきているという肯定的な評価をしております。また、中央区以外の利用者を増やすことを課題として、中央区以外の学校や幕張メッセへの出前講座を実施するとともに、新たに公民館へ子ども交流館のチラシを配架するなど、子ども交流館をPRすることができたという評価になっております。

次のページをご覧ください。

「5 市による評価」でございますが、「S」「A」「B」評価の中間の「A」評価としております。指定管理業務については適正に実施されており、一定の評価はできますが、飛び抜けた成果が上がっているとは言えないという評価でございます。

所見でございますが、1つ目に、来館者数は増加しており、施設の広報活動、講座等が良好に運営されている。2つ目に、収支実績は前年から改善されているものの、依然としてマイナスであるため、さらなる改善が必要である。3つ目に、「千葉ジェッツの選手と遊ぼう」など、新規講座の実施や子ども交流館のチラシの配架場所の拡大など、新たな業務への取り組みが確認できる。4つ目に、不登校児童を集めて「スポーツフェスタ」を開催するなど、健全育成に貢献した。5つ目に、自主事業では定員に満たない講座もあり、継続的な見直しが必要である。最後に、「こどものまちCBT」等、本市が実施いたします子ども施策への協力体制があり、事業内容の充実に貢献している点を記載しております。以上が市による評価項目でございます。

その下に個別の評価をしておりますが、「1」が計画どおり実績を上げていない項目、「2」が計画どおりの項目、「3」が計画を上回る項目でございます。

ここでは特に昨年から評価が改善した項目、3点をつけた項目、1点をつけた項目について、説明をさせていただきます。表の中ほど、中項目、「健全育成が目的の講座等の開催」の「幼稚園等の児童交流促進」でございます。計画では年4回を計画しておりますが、前年度と同様に幼稚園への声かけを行いました。幼稚園側のスケジュールと折り合いが合わず、計画数には達しませんでした。このため1点をつけております。

次に、下から2つ目、「子どもの健全育成の啓発事業」の「子育てふれ愛フェスタ」については、「チーバくん」を呼ぶなど企画内容を見直し、過去最高の参加者数を記録したことから、3点をつけております。

次のページをご覧ください。

「(3) 施設の効用の発揮、施設管理能力」の中項目「利用促進の方策」の「パンフレット等の作成・配布」につきましては、新たに47全ての公民館への配架を開始しており、利用者増へつながったことから、3点をつけております。

同じく、中項目「自主事業の効果的な実施」の「その他」についてでございますが、

新たに「千葉ジェッツの選手と遊ぼう」を実施し、プロチームによる効果的な事業を実施したため、3点をつけております。

次に、その下、「常勤職員の半数以上は『児童の遊びを指導する者』となっているか」については、本市の管理運営の基準では半数以上としているところを、常勤職員12人全員が児童指導員または教員免許等の所有者であることから、3点をつけております。

最後に、一番下の欄、「(4) 管理経費の縮減」でございます。「収入見積の妥当性」ですが、収入実績はマイナスであるものの、支出、収入ともおおむね計画どおりであったことから、2点としております。

したがって、合計99点、平均は2.1点のため、A評価といたしました。

以上が市による子ども交流館の年次評価でございます。よろしくお願いいたします。

○岩切会長 ありがとうございます。

それでは、ただいま事務局の説明がございましたけれども、委員の皆さんから、ご質問、ご意見等がございますか。

○田原委員 「健全育成が目的の講座等の開催」に1点がございますね。幼稚園との交流を促すのに幼稚園と折り合いがつかなかったというお話ですが、幼稚園側から、この時期だったらいいよということは聞いていらっしゃるのでしょうか。

○始関子ども企画課長 例年利用している幼稚園からは利用の申し出はあったのですが、新たな幼稚園からの申し出がなかったということでした。新たな利用者の発掘を目的に実施している事業でございますが、声掛けはしましたけれども、新たな幼稚園からの申し出は、スケジュールの都合で合わなかったという結果でございます。

○田原委員 幼稚園との折り合いがつかないから、そのままにしていたということでしょうか。折り合いのつく幼稚園を探すということはしなかったのでしょうか。

○始関子ども企画課長 幼稚園協会を通じてお願いしましたが、行けないというご回答をいただいたということでございます。

○田原委員 幼稚園協会へは計画の段階で早くPRをするということはやってらっしゃるんですか。

○始関子ども企画課長 はい。実施しております。

○田原委員 分かりました。ありがとうございます。

○小栗委員 交流促進について、先ほど課長からご説明がありましたが、幼稚園に限らず、保育所も市内にたくさんあると思いますので、声をかけるところは多々あるような気が致します。

○岩切会長 ありがとうございます。この事業内容というのは、「幼稚園等」となっていますよね。保育所でもよろしいのですか。

○始関子ども企画課長 実は、民間保育園にもお声かけをさせていただいておりまして、以前、認可外の保育園で運動会の利用がありました

○岩切会長 利用者はそういう認識を持っているんですか。

○始関子ども企画課長 今年度になりますけれども、既に4園から申し出が来ています。

○田原委員 じゃあ、今年度は改善されるということですね。

- 始関子ども企画課長 はい。
- 田原委員 それはよかったです。
- 小栗委員 幼稚園と保育所の垣根をなくして、認定子ども園化を進めるわけですから、従来の幼稚園と保育所を分けて考える必要はないのではないかと思います。
- 岩切会長 ありがとうございます。先ほどご説明があったように、認定子ども園の施策もあるわけですから、そういうところも含めて、ぜひ充実させていただきたいと思います。
- 松寄委員 具体的に児童交流促進とはどのような内容でしょうか。今おっしゃったみたいに、子ども交流館で使える場所を提供するということですか。場所の提供以外に、どういう利用ができるのかを教えてくださいたいと思います。
- 始関子ども企画課長 特に多いのはアリーナの利用ですね。園庭がない保育園もありますので、そういった園は先ほどもちょっと申し上げたアリーナでの運動会であったり、それから、多いのはプレイルームです。あと、若干ではありますが、調理室の利用も実施はしています。
- 松寄委員 資料2-4「26年度事業報告書」の14ページ上から3番目の左側に平成26年度のアリーナ団体利用実績、それから、右側に、平成26年度のプレイルームの利用実績があると思います。この表をみますと、他の月に比べて、4月、5月は利用されていない。行事数が少ないのかもしれませんが、月によって利用状況が変わるので、この段階だったら空いています、という情報をぜひ公表していただければ、例えば、幼稚園で新入園児は難しくても、在園児であれば早い時期から利用ができます、と言えるかなと思いました。そういうことはされているのか、もしくは、今後されるのかお伺いします。
- 始関子ども企画課長 園でも年度計画を立ておりますので、それに合わせてこちらからも対応させていただいているところです。
- 岩切会長 よろしいですか。
- 松寄委員 はい。
- 田原委員 早目に園にPRすることですね。
- 岩切会長 幼稚園等の児童交流促進の評価が年々下がってきているので、最初は3だったんですね。だから、年々下がってきて、3、2、1なんですね。
- 始関子ども企画課長 我々の考え方も、新たな幼稚園等の利用を増やしていくところでの目標値を立てていますので、その点で、今まで使っていたところは、継続的に使っているというところはあるのですが、新たな園を開拓していくというところでは、なかなか、園との都合もあって進んでいないということで評価が低くなっております。新たな園の開拓の仕方を今後検討させていただきたいなとは思っております。
- 田原委員 そこに力を入れていただきたいですね。
- 松寄委員 「指定管理評価シート」2ページの4. 指定管理者による自己評価の2つ目に、利用者の増加の取組みのなかで小学校4校などに出張講座を開催しているとあるので、保育園や幼稚園にも行って、パンフレットを配るだけでも周知になると思います。
- 岩切会長 ありがとうございます。今のご意見について事務局どうですか。

- 始関こども企画課長 参考にさせていただきます。
- 岩切会長 この事業に集中しているようなので、他にいかがですか。
- 鶴見副会長 人数の問題ですけれども、先ほどご説明があったように、登録者数は子どもの減少に合わせて、減るということですが、それにもかかわらず利用者数については前年度比6%増を達成しております、この点については評価できるのではないかと思います。
- 岩切会長 ありがとうございます。財務諸表はいかがでございますか。
- 小栗委員 昨年も指定管理事業単体の財務諸表がないということでわかりづらいという話がありましたが、私も同じ印象を持っております。いろいろやった結果、効果が幾ら発生して、その結果、損益がこうなったというのが見えづらいという印象を持っております。
- 岩切会長 これは毎年意見として出ておまして、アクティオの会社本体の財務状況は問題ない。ただし、この事業に関する財務諸表については、なかなか詳細がつかめないところがあって、しかも収支がマイナスだということはいかななものかと。その点は、事務局を通して、再三、指定管理者に申し入れをさせていただいている件ですが、そのあたりいかがでしょうか。
- 始関こども企画課長 資料の2-4「年度事業報告書」の40ページの次、「運営管理経費報告書」をご覧ください。こちらが26年度の実績になります。事業費・管理費の中の印刷製本費がパンフレット作成経費になりますが、実際は以前作成したパンフレットの在庫がありましたので、26年度は作成しておりません。
- やはり大きいのは人件費になります。事務職員については管理運営規則の中では2名を必ず配置することとしておりますが、事務職員の負担が多くなってきており、施設の見回りについても着実に実施していかなければならないことから、非常勤職員を新たに雇用し、事務を任せ分、常勤の職員で館内の見回りを実施したというところで、そのための経費が計画よりも上回ってしまったということでございます。
- 小栗委員 収支のマイナスはどうしているのでしょうか。
- 始関こども企画課長 本社自体がかなり大きな会社でございますので、収支のマイナスについては、他の事業収益から補填されていると伺っております。
- 岩切会長 参考資料の1-3「平成25年度指定管理者評価シート」の4ページの一番ですが、昨年度、「指定管理者の財務状況については現状において特段の問題はないと認められるが、指定管理施設単体の財務状況も把握できるような工夫を検討されたい」という意見を添えてありますが、この点は改善されていますか。
- 始関こども企画課長 アクティオの本社にはお伝えはしているのですが、株式会社として、指定管理事業単体の財務諸表を出さなければならないというところではないので、難しいところです。ですから、その点については、改善はされていません。
- 岩切会長 明らかな改善はないということですね。この件については、毎年意見を述べておりますが、改善はされていないようです。今回意見を出すとするれば、3回目となりますが、委員の皆さん、ご意見いかがですか。

- 田原委員 多少は収支のマイナスが減っているんですね。
- 小栗委員 主立った施策については把握されていますか。
- 始関こども企画課長 お手元にお配りはしていないのですけれども、事業者とのヒアリングの中で、非常勤職員1名増したことに伴う経費につきましては、年間で173万円ほどと、確認しております。
- 岩切会長 一応、示されてはいるということですね。
- 田原委員 1人非常勤職員をふやすことによって充実する部分もありますよね。マイナス点ばかりではなく。金額的にはマイナスでも、1人を補充することによって見回りもできたりするので、いい点もあると思います。ですから、その点では、これぐらいは問題ないかと思います。
- 鶴見委員 問題はないかと思います。
- 田原委員 余り追及して人材を減らされたら、常駐ができない部分が出てきますから、難しいところですね。資格を持ってらっしゃる方を入れることはいいことですよ。なおかつ黒字を出せというのは、難しいかもしれません。
- 岩切会長 よろしいですか。この件はどういたしましょうか。今年度の意見からは削除いたしますか。
- 田原委員 改善を図る意味では、多少意見は入れた方がよいと思います。
- 岩切会長 先ほど、主要な項目だけでも開示をしてほしいという意見がありましたが、そのあたりはいかがですか。
- 松寄委員 資料の2-2「指定管理者評価シート」の収支状況の支出実績の備考欄には、「人件費の増加は、事務管理を担当する非常勤職員を1名増やしたため」としか書いていないので、ここにおおよそ幾らかという概算だけでも費用を入れておいてくだされば、透明性が高まると思います。
- 岩切会長 収支状況の表の中の改善等でできますか。
- 松寄委員 その下のところはありますね。光熱費に関しては金額が書いてあるのに、人件費に関しては書いていませんので、両方書いておいてもらえればわかりやすいと思います。
- 始関こども企画課長 備考欄の記入について、充実するよう改善いたします。
- 岩切会長 それでは、財務状況については以上で、ほかはいかがですか。
- 松寄委員 2-4「年度事業報告書」の資料の21ページのところに、③の運営連絡会(きぼーる管理組合)の下から4行目ですけど、「1月21日開催予定でしたが、中止となりました」とだけ書いてありますが、その理由は何ですか。
- 岩切会長 これについて事務局で把握していますか。
- 始関こども企画課長 すみません、把握しておりません。
- 岩切会長 それでは、それは確認しておいてください。
- 始関こども企画課長 はい。
- 岩切会長 ほかに何かございませんか。

私から一つ伺いたいんですけれども、この事業、登録者数は年々減っているんですよ

ね。過去3年間を見ますと、私の記憶だと最初の年は1万6,000人登録がありました。2年目は1万4,000人の登録で、3年目は約1万1,000人。この事業の中で登録者数がどういう意味を持っているかということがよくわからない。ただ数が多ければいいという問題ではなくて、事務局の評価の中でも、登録者については全く触れていないんですね。事業者も登録者数の検証については全く触れていない。これは検証して、先ほど、裾野がある程度広がったので、もうこれ以上はなかなか増加が難しいというご説明も少しあったのですが、登録者数の減少というのは、この事業自体には支障は来さないものなのですか。

○始関子ども企画課長 利用者数については、多ければ多いほど市民にサービスが提供されていることにはなりますが、登録者数が減っているにもかかわらず利用者数が増えているということは、リピーターが多いということになろうかと思えます。登録者数を広げていくことは、広く色々な方にご利用いただくという考え方があるとは思っております。これについては、出前講座であったり、様々な事業を展開しながら、新たな登録者数を増やしていくことに努めていかなければならないと、我々は考えているところです。

○岩切会長 私も事務局と同じように思っています。だから、この登録者数が年々減っていることについては、何らかの指摘をしたほうがいいのではないかと。せっかく出前でいろいろやっているわけですから、そういう普及啓発ということをやっていると思うので、そのあたりどうかなと思ったのですが、委員の皆さん、いかがでしょうか。これはやはりどこかで歯止めをかけるために、指摘した方がいいのではないかなと思いましたね。

○始関子ども企画課長 登録して利用をさせていただいておりますので、どこの区の方が利用されているという調査はしております。やはり、中央区が多いということで、その辺の改善を図るために、今回も中央区以外の学校に出向いて出前講座を実施しております。また、イベントをやったときには「どの区からいらっしゃいましたか」というデータはとっております。ですから、中央区以外のところでの利用を図っていかなければならないかなと考えております。それと、高校生の利用が若干減ってきておりますので、例えば、市外の方でも市内の高校に通って、その帰りに利用してもらおうということが図ればと、考えとしては持っております。

○岩切会長 ほかはよろしいですか。

では、委員会としての意見をまとめたいと思います。いろいろ問題点だけを指摘するのではなくて、市の評価もA評価でございますので、管理運営については概ね良好だということは問題ないだろうと思いますが、よろしいですか。

(各委員了承)

それから、利用者数も7,700人増加しておりますので、これは大変なことだと思えます。これは多ければ多いほどいいわけでございますので、さらに利用者数の増加に努めてほしいということで、よろしいかと思いますが、いかがですか。

(各委員了承)

やや問題となっている点、何点か指摘がありました。2点目に、最初に出ました幼稚

園等の児童交流促進について評価が1ということ。年々内容が充実していない。これはどうでしょうか。この事業単体で指摘しますか、それとも全体の中で指摘をしますか。

○田原委員 単体での事業評価のほうが良いと思います。

○岩切会長 この事業について改善を求めたいということですね。わかりました。ではこれは改善を求めたいと思います。

それから3点目、財務諸表ですが、昨年度までのような表現ではなく、今年度は、収支状況について内容の詳細が把握できるように改善を求めたいというようなことでしょうか。よろしいですか。

(各委員了承)

4点目は、登録者数の減少について状況を分析した上で登録者数の増加に努めてほしいという趣旨の意見を述べるということでしょうか。

(各委員了承)

では、今、4点を意見として述べたいと思いますが、ほかに何か委員さんからこういう意見をつけ加えたいということはありませんか。よろしいですか。

では、今年度はその4点を軸に意見としてまとめたいと思います。この後、事務局と検討して適切な表現にして、意見としてまとめさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員了承)

○岩切会長 ありがとうございます。

次に、議題「(3)『千葉市子育て支援館』の年度評価について」に移ります。事務局よりご説明をお願いいたします。

○佐々木保育支援課長 保育支援課の佐々木でございます。よろしくお願いいたします。

資料の3-2「指定管理者評価シート」でございます。こちらを説明させていただきます。

まず、「1 基本情報」でございます。施設名は千葉市子育て支援館でございます。指定管理者は公益社団法人千葉市民間保育園協議会で、指定期間につきましては平成24年4月1日から平成29年3月31日まででございます。今回は2期目、3年目の評価となります。

続きまして、「2 管理運営の実績」でございます。(1)の「主な実施事業」でございますけれども、支援館の維持管理業務、それから地域子育て支援センター事業、そしてファミリー・サポート・センター事業となっております。自主事業につきましては②でございますけれども、こちらは自主企画による育児イベント、講座、研修等となっております。

続きまして、(2)の「利用状況」でございます。①の「利用者数」ですけれども、平成26年度は7万4,508人で、平成25年度の7万6,470人と比較いたしまして97.4%、1,962人の減となっております。これにつきましては、千葉市の就学前児童の人数を平成25年度と平成26年度で比較いたしますと830人の減となっておりますこと、そして、近年の保育ニーズ等を反映いたしまして、保育所に入所する児童数が増加していること

が大きな要因であると考えております。

続きまして、②の「相談件数」でございますけれども、昨年度より 136 件多い 2,512 件となっております。

③の「ファミリー・サポート・センター事業の会員数」でございますけれども、昨年度より 162 人多い 5,073 人となっております。

続きまして、(3)の「収支状況」でございます。まず、①の「収入実績」でございますけれども、自主事業の決算額は 10 万 8,000 円と計画額よりも 5 万 6,000 円少なくなっております。こちらにつきましては、自主事業として 37 回の講座を予定していたものが 36 回となりました。それから、参加者からの料金徴収、いわゆる参加の負担金でございますけれども、これが予定よりも少なかったことなどが理由であると考えております。その他の収入が計画額よりも上回った要因といたしましては、講演会の講師謝礼によるものが増えたことが要因であると考えております。

続きまして、②の「支出実績」でございます。対計画比といたしまして一番大きく差が生じているものでございますけれども、計画比の 65.9%は自主事業でございます。これは収入状況の説明のときに申し上げましたけれども、講座のキャンセルや参加者からの料金徴収が減ったことが主な要因であると考えております。

管理費ですけれども、館内のおもちゃの破損による取りかえなどを想定しておりましたけれども、破損するおもちゃが少なかったことなどを要因として挙げております。

最後に、③の「収支実績」でございます。収入から支出を差し引いた金額になりますけれども、こちらにつきましても決算額でございます。こちらは 76 万 1,000 円の黒字となっております、おおむね適正に運営されていると考えております。

次に、「(4) 指定管理者が行った処分の件数」でございます。こちらにつきましては 295 件となっております。これは多目的室の使用の許可を行ったものでございます。

続きまして、ページをおめくりいただきます。「(5) 市への不服申し立て」でございますけれども、昨年を引き続きまして、こちらはございませんでした。

続きまして、「(6) 情報公開の状況」につきましても同様となっております。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」でございます。これも昨年同様に、さまざまな方法によりましてアンケートを実施しております。1つ目といたしまして、初めて来館する方向けに配布をしているアンケート。2つ目といたしまして、来館者に配布するもの。3つ目といたしまして、ひろば・イベントに参加した方。4つ目といたしまして、館内に設置したポストに投函する。この4つの方法によりましてアンケートを実施しております。これらの方法によりまして、昨年度は 2,296 件ございましたけれども、これを 169 件下回る 2,127 件のアンケートを回収してございます。

②の「調査の結果」でございます。来館者ですけれども、おおむね 20 代から 30 代の子育て中の女性がほとんどでございます。

目的といたしましては、「親子で遊ぶため」が最も多く 61.9%、続きまして、「友達をつくるため」が 13.7%、「情報を得るため」が 8.0%となっております。

よく利用するコーナーですけれども、「プレイホール」が 76.2%、「ままごとコーナー」

が 51.9%、「親子サロン」が 29.2%、「創作コーナー」が 27.8%、「絵本コーナー」が 25.9%、「乳児室」が 17.3%などとなっております。

(3) のアンケートの中で「大変よい」とされたものですが、受付でのスタッフ対応は、92.6%、ホール内でのスタッフの対応は 88.0%となっております。「スタッフに相談しやすい雰囲気ですか」という点につきましては、74.3%の方からよい評価をいただいているところでございます。全体的に、同年代の子どもの遊び場、親同士の交流や育児相談、情報収集のために、さまざまなイベントに参加している状況が見られたところであります。

③のアンケートに寄せられました主な意見でございます。駐車場料金の割引及び無料の要望が多数ありました。これにつきましては、支援館は利用料金が無料の施設であるため、ご理解を求めているところでございます。また、きぼー内のスーパーを利用した際の駐車場料金の割引案内等もしているところでございます。ほかにも、空調、衛生管理、おもちゃの破損への対応、親同士の交流を図る機会を設けてほしいという要望などの意見があったところでございます。

市に寄せられた意見、それから苦情等はございませんでした。

続きまして、3 ページでございます。

「4 指定管理者による自己評価」ですが、まず、「提案内容の達成状況」ですけれども、「管理運営の基準や計画等に基づき、適切に各事業に取り組んだ（おおむね達成している）」、「相談業務については、臨床発達心理士・認定心理士、看護師及び保育士、保育総合アドバイザーも相談に当たり、相談業務を適正に実施した」、「市との綿密な連絡・調整のほか、各拠点施設との連絡会議において積極的に提案を行うなど、地域子育て支援センター基幹施設としての役割を果たしている。」となっております。

次に、「利用者意見に対する評価」ですけれども、「年4回実施している来館者アンケート、はじめましてアンケート、ご意見ポスト、ひろば・イベント等の参加者アンケートにおきまして、スタッフの対応を初め、施設の利用満足度も高い傾向となっており、また、さまざまなご意見を頂戴する中で、検討すべき課題につきましては、職員会議等を通しまして協議を図るとともに共通理解を深める、このようなことに努めており、これらの点を総合的に見まして、おおむね良好との自己評価とする」ということでございます。

次に、「5 市による評価」でございますけれども、本年度はAと評価をいたしました。

所見でございます。

指定管理者として引き続き指定された第2期の3年目でございます。

来館者数は、目標数値7万5,200人、これは計画の目標数値でございますけれども、これを下回る7万4,508人となりました。対前年度比で97.4%、1,962人減少いたしました。これは、当初申し上げましたとおり、就学前児童数の減少の影響等もあると推測されます。また、利用者アンケートの結果から、安定した満足度が得られていることがわかり、この点が評価できる。事業の広報・PR活動におきまして、ホームページの更新や広報誌等の発行のほか、引き続き、生涯大学での「子育て孫育て」講演会等の講

師として積極的に活動するなど、施設の知名度、認知度を上げる取り組みを行ってきました。

地域子育て拠点施設の基幹施設として、他の拠点施設の統計の取りまとめですとか翌月に実施する講座等の情報収集、ホームページでの情報提供を行ったほか、定期的な連絡会議等を開催し、他の拠点施設との連絡調整を円滑に行っております。

ファミリー・サポート・センター事業につきましては、活動件数こそ昨年比で413件下回る1万1,992件となりましたが、会員数は162人増の5,073人となっております。順調に伸ばしてきているという状況でございます。会員間の交流会の開催につきましても積極的に取り組んでいるところであり、それらの取り組みが会員数の増加に結びついていると考えております。

次に、「履行状況」で、昨年度から評価が変わったものだけをご説明させていただきます。ページをおめくりいただきまして、4ページでございます。4ページの一番上のところですが、左側に「利用者への支援」とございます。こちらの2つ目の項目でございます。「子育てサークル・ボランティアの育成・支援（講習会月1回・出張支援年3回）」とございます。2つ目の出張支援ですが、「出張ひろば」を年5回実施しており、提案の年3回を上回ったことによりまして、評価を2から3にしているところでございます。こちらが、評価が変わったところでございます。

下のところに記載しておりますけれども、全体といたしまして91点。項目が38項目ございますので、平均2.4点。3点が15項目、2点が23項目で、平均が2.4点でございます。4年連続で2.4点ということで、Sと評価したいところではございますけれども、先ほど申し上げましたとおり、年間来館者数が7万4,508人ということで、一昨年、それから昨年比6,894人減からさらに1,962人の減となっていること、提案時での目標人数7万5,200人を下回っているということも総合的に考えまして、総合評価といたしましては、SではなくAと評価したところでございます。

私からの説明は以上でございます。

○岩切会長 ありがとうございます。

それでは、ただいま事務局の説明がございましたけれども、委員の皆さんから、ご質問、ご意見等がございますか。

○鶴見委員 まずやはり利用者人数が減少していることですね。子どもが減少しているというのはそのとおりだと思いますので、やむを得ないかなと思うけれども、人数からすると2,000人近い減ですので、幅が広いかなと思います。あとは、子どもが減少している中、目標値を7万5,200人とそのまま設定しておりますので、いた仕方ないということだけではなくて、それに対する改善についても必要なのではないかと思います。

○岩切会長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

○松崎委員 ファミリー・サポート・センターに関しても利用件数が減っているということですが、登録した会員数は増えている反面、利用件数の減について分析はされておりますか。

○佐々木保育支援課長 登録者数は増えましたけれども、相談件数が減っている、この分

析はできていない状況でございます。原因につきましては、つかみ切れていないというのが率直なところでございます。

○松寄委員 もしそうなのであれば、評価シート4ページのファミリー・サポート・センター事業のところ、いろいろフォローアップ研修会や交流会を行っていますが、それだけでは十分ではないということが考えられるので、事業の結果がどのように利用者の増加につながっているのか、事業内容もあわせて検討していただきたい。研修したから利用する人に結びつくとの結果であれば、もっと研修を増やしていけばいいし、それだけでは不十分なのだったら、別の事業も考えないといけないと思うので、なぜこうなっているのかということを考えていただきたい。

○佐々木保育支援課長 はい、わかりました。

○事務局 保育支援課の仙田と申します。一つ補足させていただきたいのですが、ファミリー・サポート・センターの件です。指定管理者から、日ごろ、話を聞いている状況では、ファミリー・サポート・センターは、ご存じのとおり、市民の方同士で支え合う仕組みということで、依頼をしたい方が求めている内容を、援助される方が応えられない部分が出てきています。例えば、実際に求めている方のご自宅の近くに、提供される方、援助される方がいらっしゃらない、そういう状況もあるということで、なかなか、マッチングといいますか活動に結びつくことが難しいケースもあると聞いております。ただし、少しでも提供できる方、援助できる方を増やしていくことが当然マッチングにつながっていきますので、引き続き、そこは指定管理者と一緒に改善していきたいと思っております。

○岩切会長 ありがとうございます。財務状況についてはいかがですか。

○小栗委員 まず、千葉市民間保育園協議会の子育て支援館特別会計を拝見いたしますと、正味財産増減計算書で当年度約125万円のマイナスとなっております。これは事務局から情報をいただいておりますけれども、他会計への繰り出しを除けばプラスということで、財政状態はよくないけれども、経営成績は大体とんとの状態でずっと来ている形になっています。経営成績自体は悪くないと思います。

あと、当該協議会はもう一つ保育園をやってらっしゃるということですが、保育園の計算書がついていないので、協議会全体の財政状況はわかりません。

先ほどもちょっとお話のあった利用者人数の減の理由には、就学前児童の減少プラス保育所に入所する児童が増えているということで、保育所に行く児童が増えれば、この施設の利用者が減るというトレードオフの関係が一部原因の中に含まれているという説明がありましたけれども、この協議会は保育園もやっていると聞いたので、この利用者が減った分、ほかの保育園が増えているのか。そのあたり、人の流れについてはわかりません。

○岩切会長 財務状況自体については特段の問題はありませんか。

○小栗委員 財務状況に関しては懸念される部分はありますが、経営成績に関しては、問題はないというところでございます。

○岩切会長 ほかはいかがでしょうか。

- 田原委員 評価の中でマイナスになっているところはありますか。プラスになっているところは、先ほど子育てサークルは3の評価をしましたということで。3だったのが2になっている評価というのはありますか。
- 佐々木保育支援課長 マイナスになっているところはございません。
- 田原委員 3の評価が15項目、2の評価が23項目とおっしゃいましたね。S評価になるには、2の評価が上がらないとだめということですよ、こんなに3の評価が多くて。そういうことですね。
- 佐々木保育支援課長 計算上はそのような形になります。
- 岩切会長 過去の評価委員会では明確に平均点が「2.」幾つだからSとかと、そういうことではないと伺っています。2.4というのは極めて高い、毎年2.4が続いていまして、去年もそうでしたが、事務局からの説明にありましたように、来館者数が減っているんですね。ですから、このあたりをどう見るかということです。
- 田原委員 そうですね。それがちょっと気になりますね。
- 岩切会長 少子化の問題もあるとすれば、なかなか悩むところですが。ただ、だんだん来館者数が減っているのに、急にS評価に上がるということは、その評価の根拠が問われますね。
- 田原委員 非常に頑張っていますよね。
- 岩切会長 頑張っていることは十分だと思うんですけど。
- 田原委員 でも、これから利用者が増えるということは難しいのでは。
- 岩切会長 この状況を見ているとそうなりますね。先ほど、小栗委員がおっしゃっていましたが、一方では保育所の子どもの数が増えているわけですからね。
- 松寄委員 相談件数も増えていますが、相談した人がどうだったのかというのも、できれば何らかの形で、ひとつずつでもいいから、示していただきたい。
- 特にこの施設を利用される保護者の方たちは、誰かに聞いてほしいとか、手だてがなくたってというところがあって、だから、ものすごく細かく書いてくださっていますので、それに対応できるような、これだけたくさんとって、職員会議で共有されて、ちゃんと改善できるところは改善している、これはこういう意見があったので改善したとか、これはこういう理由で改善できないということを返したほうが、利用者の増加につながるのではないかと、来館者数の増加に向けて違う側面から検討していただけたらと思います。
- 佐々木保育支援課長 わかりました。ありがとうございます。
- 岩切会長 事務局からは何かございますか。
- 事務局 保育支援課の仙田と申します。いただいたご意見に関しましては、一部にはなっていますが、ご意見をいただいて、こういったことに対応しますということ、施設内の掲示板に掲示させていただいたり、あるいはホームページに一部掲載させていただいたりということは若干はさせていただいています。ただ、なかなか一つ一つは対応できていない状況がございますので、今後、指定管理者とは、利用者の声にどのように対応していくか、応えられないことに関してはどう伝えていくかということに関して、

相談していきたいと思っております。

○松崎委員 先日施設を見学した際に、掲示板を拝見させていただきましたけれども、利用者の意見をちゃんと掲示されているんだなと感じました。ただ、一言でいいので、何かコメントみたいなものがついていると、書きがいがあると思いますし、そこにまた行きたくなると思いますので、場所の工夫や掲示の工夫も含めて、改善を検討していただきたいです。

○佐々木保育支援課長 ただいまご指摘がありました見せ方の工夫等も含めまして、改善できるところは改善していきたいと思っております。ありがとうございます。

○岩切会長 ありがとうございます。

○小栗委員 同じ建物内に子ども交流館とその上に子育て支援館がありますよね。それぞれ別々の事業者が運営しているのですが、施設間の交流といいますか、上の階の子育て支援館では20代、30代のお母様方が幼児を連れて、下の階の子ども交流館は世代的には小学校から高校までですよ。完全に分断されています。ただ、施設を見学したときには、子育て支援館から子ども交流館の施設の一部が、上から窓越しに見えるような形になっていて、人の動きはあると説明を受けましたが、そのあたり、もう少し施設間の連携といいますか、例えば、子ども交流館では、私が見た限りでは稼働していない部屋が幾つか見られて、子育て支援館は子どもと保護者でいっぱい状態になっていましたので、うまく交流が双方でできないのかなという印象を持ったのですが、そのあたり、どのようなお考えですか。

○始関こども企画課長 子ども交流館については、乳幼児が遊ぶところがないというのが現状です。ただ、子ども交流館の中には、プレイルームがありまして、かなり人気の施設なのですが、子育て支援館から来られる方というのはプレイルーム目当てで来る方が多くいらっしゃいます。当初は何もなく閉め切りにしておりましたが、今はカメラをつけたり、相互に連絡をとり合って来館できるよう図っています。ただ、やはり、施設管理の都合もありますので、一応、行き来できる扉は閉めさせていただいております。ドアに掲示を出してはいるのですが、なかなか目につかないというところもありますので、そのあたり、工夫をさせていただいて、対応を図っていければと思っております。

○岩切会長 よろしいですか。

では、委員会としての意見をまとめたいと思います。この施設はかなりハイレベルな部分でいろいろと検討や協議が進んできたので、やるべきことはいろいろと精いっぱいやっけていこうという状況は伺えると思います。したがって、市の評価ももちろんAで、Sにするかどうかというようなところでの評価ですので、市の評価どおり、おおむね良好に管理運営が行われている、これはよろしいでしょうか。

(各委員了承)

それから、2点目ですが、利用者数の減について、皆さんの意見もいろいろ出まして、難しい部分もあるのですが、委員の皆さんからは利用者数の減少について、単に少子化の影響というだけで済まされることではなくて、社会状況はもろんなのですが、少子化等の社会状況を把握するのは当然として、いろいろ詳細にやっけていこうア

ンケート調査等の内容を踏まえて、再度、利用者のニーズや満足度を再検討され、利用者増につながるように検討をしていただきたい、そのような意見がありました。

すばらしい施設ですので、利用者数がこのまま少子化だということだけでどんどん減っていくということでは困りますので、そのあたり、せっかくさまざまな資料があるんですから、その調査結果等を活用して、もう一度、利用者増につながる事業内容の検討をしていただきたい、という意見をあえて申し上げるといふことでよろしいですか。

(各委員了承)

それから、3点目、財務状況ですが、財務状況については、今まで、特段の問題はないということでも申し上げてきたのですが、このあたり、「債務超過ではあるけれども」のような一文をつけ加えるか、つけ加えないか。そのあたりはいかがですか。

○小栗委員 債務超過ですけれども、その期の損益はほとんどになっており、総合的に判断して、特段の問題はないという形でよろしいかと思えます。

○岩切会長 わかりました。では、これまでの特段の問題はないとの表現でよろしいですか。

(各委員了承)

○岩切会長 それでは、今挙げた3点を軸に委員会の意見としてまとめたいと思えます。

この後、事務局と検討して適切な表現にして、意見としてまとめさせていただきたいと思えますが、よろしいでしょうか。

(各委員了承)

○岩切会長 それでは、2つの施設について委員会としての意見をまとめたのですが、この後の評価シートへの最終的な意見の反映方法について、事務局からご説明願います。

○事務局 それでは、「委員会の意見」欄への記入方法についてご説明いたします。本日、施設ごとにいただきましたご意見につきましては、事務局で集約いたしまして、案文を作成させていただきます。その後、会長のご了承を得た上で、委員の皆様にお諮りをし、内容を確定したいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

○岩切会長 よろしいでしょうか。

(各委員了承)

○岩切会長 それでは、そのように進めさせていただきます。

本日の指定管理者の評価につきましての審議は以上でございますが、その他、委員の皆様から何かございますか。

それでは、最後に、議題の(4)「その他」について、事務局よりご説明をお願いいたします。

○始関こども企画課長 「その他」でございますが、3点ほどご報告がございます。

まず1点目でございますが、今回のこの会議の議事録と評価シートにつきましては、千葉市のホームページで公開となりますので、ご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

次に、今年度の当委員会の開催は今回のみとなっております。

最後に、来年度の委員会の開催スケジュールにつきまして、現時点での案でございま

すが、簡単にご連絡をさせていただきます。

来年度は、次期指定管理者の選定がございますので、開催予定といたしましては、まず、第1回目を6月上旬に、年度評価と総合評価を行う予定でございます。総合評価につきましては、次期指定管理者の選定に向けてのご意見をいただくものとなっております。第2回は7月上旬に、指定管理者の募集条件、審査基準等につきまして、ご審議をいただく予定でございます。第3回、第4回は10月に、子ども交流館、子育て支援館、両施設の選定に係るご審議をお願いするものでございます。以上、年4回を予定しております。

なお、委員会で選定した指定管理予定候補者につきましては、議案として議会に提出しご審議いただくものとなっております。委員の皆様にはご負担をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○岩切会長 本日の議題は以上でございますが、全体を通してご質問やご意見等ございましたらご発言願います。

それでは、特にないようですので、本日の委員会はこれで終わりにしたいと思います。委員の皆様方には大変たくさんのご意見をいただきまして、ありがとうございました。また、事務局もありがとうございました。

それでは、以上で終わります。この後は事務局からお願いいたします。

○事務局 長時間の審議、どうもお疲れさまでございました。本日の議事録につきましては、議事録の案を作成いたしまして、後日送付させていただきますので、内容のご確認にご協力をお願いいたします。

それでは、以上をもちまして本日の委員会を終了させていただきます。長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。